

どなたでも
参加OK

参加費
無料

緩和ケアについて話そう

ふくやま病院の取り組みである「切れ目のない緩和ケア」について紹介するとともに、緩和ケアに関する疑問についてスタッフがお答えします。緩和ケアについてご関心がある方はぜひお越しください。

日時

12月7日（土）14時～15時30分

台風19号により、10/12（土）から延期

（受付：13時30分～）

場所

ふくやま病院 2階コミュニティホール

内容

切れ目のない緩和ケアの話（院長）

職種ごとに分かれての質疑応答

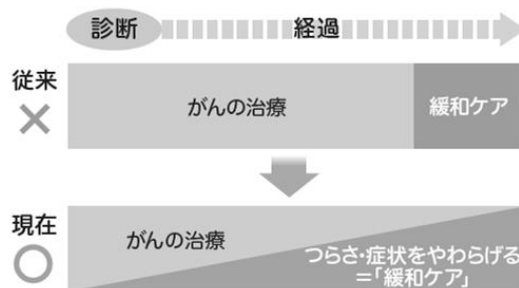
（医師・看護師・薬剤師・理学療法士・管理栄養士・ソーシャルワーカー）

緩和ケアは、がんと
診断されたときから始めます。

緩和ケアは、がんの治療ができなくなってから始めるものではありません。身体や心などのつらさが大きいと、体力を消耗することにより、がんの治療を続けることが難しくなります。そのため、がんと診断されたときから、「つらさをやわらげる＝緩和ケア」を始めることが大切です。

また、早い段階から緩和ケアを受けた場合、生活の質（QOL）が改善され、予後にも良い影響があるという調査報告もあります。

WHO（世界保健機関）の緩和ケアの考え方



引用元：日本緩和医療学会パンフレット「がんとわかったときからはじまる緩和ケア」

お申込は電話又はFAXにて
☎078-927-1514（代表）

医療法人社団 医仁会
ふくやま病院

12/7 「緩和ケアについて話そう」 お申し込み

以下に必要事項をご記入の上、FAXでお申し込みください。

FAX 078-927-1619

フリガナ	
お名前	
お立場	患者 ご家族 ご遺族 医療関係者 その他 ()
電話番号	緊急な変更があった場合など、当日連絡が付きやすい番号
	電話番号 ()
お知りになったきっかけ	

電話でお申し込みの場合は、以上の内容を担当者にお伝えください。

電話番号 078-927-1514

担当部署・担当者：地域医療連携室・河野(この)

受付日時：平日9時～17時

明石市硯町2丁目5-55
山陽電鉄「西新町」駅すぐ

